



2019 (平成31年) **新年号** No.44

会報

シルバー伊豆の国



松原橋から新春の富士山を望む 撮影：石川征夫

自主・自立・共働・共助

公益社団法人 伊豆の国市シルバー人材センター

〒410-2211 伊豆の国市長岡338番地の3

TEL 055-948-9526 **FAX** 055-948-9682

ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/izunokuni/>



QRコードを使って携帯・スマートフォンでホームページを見てください。

新年の ごあいさつ



理事長
橋本 正弘



新年あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様にはおだやかに新春を
お迎えのこととお慶び申し上げます。
当センターも市民の皆様や企業・
行政の温かいご支援、ご協力に加え、
シルバーを支えています。役員、役職
員及び職員のご尽力により事業が順
調に進み、新しい年を迎えることが
出来ましたことを心よりお礼申し上
げます。

昨年の日本経済状況は回復基調な
がら七月の西日本豪雨、北海道の地
震や夏の天候不順など自然災害が下

押し要因となり、いまだに景気回
復を実感できない状況にあります。

今年は、物価の上昇や先送りとな
ってしまいました消費税率が十月に十％
に引き上げられることなどにより、
足踏み状態になると思われます。

さて、昨年十月末時点の契約金額
は、前年より二・六％上廻って推移
していますが、設立当初からの目標
額三億円の達成には厳しい状況とな
っています。また、受注件数・就業
延人員いずれも上廻っていますが会
員数については、七・七％の減とな
りました。これは、今年度に入り未
就業者の個別面談や電話勧奨等の実
施により、退会が増えたものです。

シルバー人材センターの財政を含
め、業務運営は厳しいものがありま
すが、今後も会員の就業機会の拡大・
開拓や会員の増強に向け、役員、職
員が一体となって取り組んでまいり
ますので、会員皆様の御協力をお願
いいたします。

今年度の計画では、従来のもの以
外に、独自事業や介護保険事業・介
護予防、子育て支援事業等の推進を
掲げています。また、シルバー人材
センターの一番目に位置付けていま
す「安全就業」に関しましては、安
全就業委員会を中心に、抜打ち安全
パトロールや安全コンテスト、安全
講習会などを行い、事故防止と安全
に対する意識の高揚を図っていると
ころであります。

結びに、この一年が会員の皆様に
とりまして素晴らしい年となります
よう、心よりご祈念いたしまして新
年のあいさつとさせていただきます。



新年の ごあいさつ



伊豆の国市
市長
小野 登志子

新年あけましておめでとうございます。

伊豆の国市シルバー人材センターの会員の皆様には、お健やかに平成三十一年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆さま、覚えておいででしょうか。昨年六月の総会において、ご挨拶させていただきました時、「人生百年時代」というお話をさせていただきました。日本は超高齢社会を迎えました。「医療・福祉」など様々な課題を抱えているとはいえ、皆さまのように健康で元気な高齢者がたくさんおられるのも事実でございます。

「プロダクティブエイジング」という言葉があります。これは高齢者に自立を求めるとともに、さらにさまざまな生産的なものに寄与するため

に、積極的な社会参加が必要であるという意味が含まれている考え方です。これを、少し解りやすくしますと、高齢者になつても元気に活動を続け、積極的に地域社会に参加され、地域の元気・活力につながるような生き方をしていただくとともに、高齢者が持っている豊富な経験と知識を活かして地域課題を解決し、次世代により豊かな社会を残すため、「生産的・創造的な活動をしながら歳をとる」というようなこととなります。

つまり一昔前までには、高齢者を支援しなくてはならない弱者と一様に位置づけておりましたが、とんでもないことで、今は社会、地域の重要な担い手と捉え、地域において、リーダー的な存在となり、活躍する存在に移行しており、この言葉は、まさに、今のシルバー人材センター

の会員の皆さまの活動そのものを示しております。

伊豆の国市におきましては、超高齢化社会を迎えるにあたり、昨年三月に第七期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の策定をし、進めていくこととなりました。

これは、健康な六十五歳から元気な九十歳を目指し、今回の計画の柱の一つとして、「生きがいづくり・社会参加の推進」があり、これからも高齢者が住み慣れた地域での役割や生きがいをもった暮らしを続けられるように、就労支援はもとより、地域年代を問わないさまざまな交流機会を活用した社会参加の促進やスポーツ・文化活動に参加しやすい環境を整備し、支援してまいりますので、一層のお力添えをお願いいたします。結びに、伊豆の国市シルバー人材センターのご活動に敬意を表すとともに、益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

委員会報告

就業開拓(開発)委員会

委員長 小澤 貞彦



昨年度は六月と七月に人手不足ジャンルであります生活支援

介護予防技能講習会を開催し、十五名の参加をいただきました。国の高齢者活躍人材育成事業を活用し、九月十九日から十月三日の五日間をかけた子育て支援技能講習会を大仁くぬぎ会館で開催し、十六名の参加をいただきました。

また、十月九日から三日間をかけた、県シ連の太田推進員と同行し、行政(財政課、総務課、福祉事務所)及び企業(東芝テック)、観光協会、旅館組合、老人ホームいちごの里を訪

問し、就業開拓、会員拡大推進の働きかけを行いました。

その他、課題事項になっていきます草刈り、剪定の講習会を市民及び会員を対象として実施していきたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

適正就業委員会

委員長 内田 秀文



委員会の活動

としては、就業の公平化と未就労者ゼロを目指

し、ワークシェアリングに取り組んでおります。四月一日実施を十月一日に延期し進めてまいりましたが、お客様からの留任要望や交代要員の適性などから厳しい状況にあります。引き続き就業機会の公平性確保に向け努めてまいります。

また静岡県の最低賃金の改正が続いており、市の業務や民間企業への

対応も進めております。

それ以外では、請負業務と派遣業務の適正化や昨年九月の全体会議で会員から上がった業務への要望など課題は多々あります。

会員皆様のご協力により改善に努めて参りたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

普及啓発推進委員会

委員長 石川 征夫



新年号の原稿

依頼にご協力頂き無事発行する事が出来ました。

『平成』と言う時代も五月には新しい年号の誕生で平成最後の会報になりました。

昨年の地域奉仕作業には大仁、葦山地区の会員の協力で無事行いました。(長岡地区は雨天中止)

また、県一斉のシルバー啓発運動の一環として十月二十日にふれあい

広場で多くの市民にPR活動を実施しました。

その他、ホームページの内容も修正し、今後も適時変更してまいります。

安全就業委員会

委員長 小池 成治



理事就任二年目、安全就業委員長を継続させていただいております。

一年目は草刈り等で飛び石による事故が目立っていましたが、本年度は車輛事故が多発しております。私も公用車を使ったゴミの施設間移送を行っていますが、たて続けに二件の荷物落下事故に遭遇し、内一件は対向車をキズ付け警察ざたになりました。今後運転者も年々高齢化していき、健康面も踏まえ注意喚起、個人チェックなど今までにない取り組みをして事故ゼロを目標に、活動を推進したいと思っております。

★シリーズ★



自己実現の機会

葦山地区 飯倉 國弘



定年退職後にこの地に来て一年後「何も出来ないから、何でもする」との約束でシルバー人材センターに入った。やりたかった剪定、やったことの無い小学校警備、ミカン取り、苺ジャム造り、発掘などは、自己実現が出来たものと思う。施設管理ガイド、理事、イベントなどは、人に接することの苦手な自分を変えられることが出来た。仲間と切磋琢磨してシルバー人材センターで活動出来ることは、人生を豊かにしてお金に

は替え難い。今年の事業目標「独自事業」の成功を祈りたい。また、自己実現の機会が増えるから。

シルバー全盛時代

大仁地区 小野 薫



私がシルバー人材センターにお世話になったのは、今から九

年前でした。現在は清掃センターにて業務させて頂いております。シルバーとしての経験は少ない中、入会三年後より監事という大役を仰せつかりました。役員の皆様方の指導と協力により、なんとか四年間を全うすることが出来ました。シルバー会員として、少子高齢化が騒がれているこの世の中、これからはシルバーの時代・シルバー全盛時代です。我々シルバーが頑張るしか無いと考えます。今後も、体の続く限りシルバー人材センターで、頑張っていきたい

と思います。

生きがいの場

蕪山地区 平子場 一宇



シルバー人材センターのお世話になること十年、その間経験

させていただいた仕事の一件目はトマトの収穫でした。三棟の大型ハウスで長期間収穫されるトマトは、私の中での農業のイメージを変えさせました。二件目は温泉施設の浴室清掃やフロント業務。利用者の多くが高齢者で、少子高齢化社会の現実を実感する場でした。

デスクワークの経験しかない私には、興味の尽きない嬉しい仕事で、楽しい十年間でした。

長い間お世話になった皆さま、ありがとうございました。

十年を迎えて

長岡地区 萩原 敏夫



六月にシルバー人材センターより連絡をいただき十年在籍表

彰の内容を見て、気にもしていなかっただけにもう十年経ったのだと思う気持ちです。今は南浴場の仕事をしています。内容は営業開始まで準備、その後はお客様の対応です。これから愛される浴場を目指し、仲間と頑張っていきたいと思います。

元気で働くこと

大仁地区 大沼 英昭



シルバー人材センターに入会して十年が経過しました。最初

病気をし、体調も良くなった三年ほど前より、スーパーでの灯油の販売

を主に、レジ袋への商品入れの補佐などの仕事をさせてもらっています。店頭販売では自分の子供と働く様な年齢差が有ります。重い物や陳列場所等、出来ない事やわからない事はスタッフが親切に教えてくれます。今も元気に頑張っていて働いています。

新しい出会い

蕪山地区 杉山やよえ



二〇一四年にシルバー人材センターに入会し十月から伊豆長岡駅前

のアンテナショップ「反射炉屋」へ、当時は世界遺産登録にむけ市をあげての活動でした。伊豆の国市ブランドの品々をPRしながらの販売、多くの人と接し楽しい半年でした。現在はスーパーのオープン前二時間の仕事です。眼鏡が手離せない状態ですが頑張っていると思います。シルバー人材センターに入会

したことで、新しく出会えた仲間達
はとても大切な存在となっています。

仕事を通じて思う

長岡地区 山口 貢



八月の暑い最中、みかんの摘果作業に従事した。摘果の極意とは断捨離であることを学ぶ。私のように貧乏性な人間には不向きである。つまり、実を落とすことはもつたいないという先入観が邪魔をして、覚束無い作業であった。また、施主ご夫婦の年齢が、合わせて百六十八歳であることや後継者が不在であることを聴くに及んで複雑な想いである。この先、お二人が健康でいられるよう祈るばかりだ。

仲間と共に

大仁地区 杉村ひろみ



まごころ市場配属されて七年目です。経験も無く不安でしたが先輩方の優しい指導に支えられ、今では顔見知りのお客様方と楽しく会話など出来、楽しく働いています。人と人との繋がりの大切さ、又、仲間との「和」を大事にこれからも続けて行けたらと思います。



活動状況

ゴルフ同好会

新年明けましておめでとうございます。本年もお互いに「心気体」に留意し、ゴルフを楽しんで行きたいと思っております。この会の歩みは

三町合併前、ゴルフを趣味としている人達と伊豆市の方々を交えて適宜コースを選定して活動していました。平成十七年に三町合併を機に、伊豆市と親睦交流大会を四月、十一月の年二回相互主催し、二十四回行ってきました。

それに加えて、平成二十二年に互助会設立に合わせ、伊豆の国市の独自の大会を設け、毎年九月開催で八回を数えております。これから各人が体調に留意し、来年も継続できるよう祈っております。



みんなで行こう

ハイキング同好会

ハイキング同好会の会員は十二名（内女性二名）、健康と親睦を目的に活動しています。今年は月一回のペースで「JRさわやかウォーキング」に参加したり、みんなの希望で行き先を決めています。三島の源兵衛川や身延山、箱根旧道などを楽しんでいます。



一月〜三月には初島離島リゾートハイクを計画中です。無理せずみんなのペースで歩く熟年ハイクを心がけています。会員でない方もその都度参加できます。お待ちしています。

何でも作ってみませんか

工作同好会

毎月第二、第四火曜日の九時〜十二時、大仁倉庫で定例の活動を行い、イベントでは販売と体験教室を行っています。昨年四月から、こども子育て相談センターのベンチプロジェクトに参加し、子育て支援センターたんぽぽや同すみれ、乗合タクシーのりばウエルシア長岡駅前店のそれぞれにベンチを設置しました。この活動は廃材、余材を伊豆木材市場様や、大仁清掃センター様から、その他に募金のご協力も頂いて行っています。



設置場所は正面です。

ます。木工、竹細工、布製品に興味のある方を募集しています。

◆地域子育て支援センターすみれにベンチを設置

シルバー人材センター工作同好会が製作したベンチが、地域子育て支援センターすみれに設置されました。ベンチの設置は、ベンチでつながる地域コミュニティ「ベンチプロジェクト」の一環として実施。五月に行われた地域子育て支援センターたんぽぽへの設置に続く、第二弾となります。今回設置されたベンチは、下におもちゃが入るように工夫がされています。

シルバー人材センター独自事業

蛭ヶ島茶屋

無料休憩所・無料お茶のサービス
観光案内・観光パンフレットの提供

開店時間 10:00~15:00
食堂営業時間 10:30~14:30
定休日 水曜日・年末年始

- 売店 竹細工 (竹とんぼ、サラダスプーン、竹笛、バランストンボ、はし等)
お菓子類 (のど飴、せんべい、塩ようかん、豆菓子等)
もくせい苑の手作り商品
頼朝と政子の記念しおり
- 食堂 そば・うどん、カレーライス、おにぎり、味噌おでん、甘酒、お汁粉
コーヒー、シフォンケーキ、コーヒーゼリー等
- 朝市 (主に土曜日・日曜日) 近隣の採れたて野菜
- 折り紙教室 毎月第1日曜日 9:00~11:00



- ▼日時 平成31年1月17日 (木)
- ▼会場 伊豆の国市役所 伊豆長岡 庁舎3階 第1・2会議室
- ▼対象者 日頃、自動車を運転する方
概ね65歳以上
- ▼定員 午前・午後20名ずつ
合計40名
- ▼日時 平成31年1月18日 (金)
- ▼会場 ニュー八景園 (長岡)
- ▼会費 5千5百円
- ※問い合わせ 伊豆の国市シルバー人材センター
☎055(948)9526
- 高齢者ドライバーのための動画
K(危険)Y(予測)T(トレーニング)
研修の開催
- 事務局からののお知らせ
会員新年会の開催

「平成30年分のシルバー配分金の確定申告・住民税の申告について」

●収入が年金と配分金の方。

(65歳以上の方)	年金収入	-	120万円	=	A	(マイナスの場合は0)
	配分金	-	65万円	=	B	(マイナスの場合は0)
	A	+	B	=	C	
(65歳未満の方)	年金収入	-	70万円	=	A	(マイナスの場合は0)
	配分金	-	65万円	=	B	(マイナスの場合は0)
	A	+	B	=	C	

- ★Bが20万円を超える方、Cが28万円以上の方は住民税の申告又は確定申告が考えられますので、市役所税務課(055-948-2918)にご相談ください。
- ★平成31年2月18日(月)~3月15日(金)の間、伊豆の国市役所大仁支所2階が申告会場となっています。

求人情報（公共関係）

平成31年4月1日～

申込期限

平成31年2月15日(金)まで

No.	職 種	内 容	募集人数	就業形態	時間単価	就業時間	就業場所	備考
1	体育館管理	施設管理 受付	若干名	ローテーション	832円	17:15～21:45 (4.5H)	葦山体育館	男性
						17:00～21:30 (4.5H)	長岡体育館	男性
2	公園管理	公園管理 運営	1名	ローテーション	870円	8:00～16:00	リバーサイドパーク	男性
3	高齢者施設管理	施設管理 受付	若干名	ローテーション	832円	7:30～21:00 (6H) 3パターン勤務	高齢者温泉交流館	男女性
4	給食センター業務	運搬	1名	ローテーション	1,130円 (運転)	9:30～15:15 (5H)	大仁給食センター	男性
		運搬補助	各1名		832円 (運搬補助)	10:00～15:00 (4H)	葦山・大仁給食センター	女性
5	温泉館管理	施設管理 受付	1名	ローテーション	832円	16:00～21:00 (夏6H)	葦山温泉館	女性
						15:00～21:00 (冬5H)		

※問い合わせ・申込み 伊豆の国市シルバー人材センター事務局 055-948-9526

（長岡地区）
 水口待子・渡邊眞知子・浜村久枝・植野俊一・宮代良浩・齋藤吉信・伊奈 始・水口 鋼・向笠秀昭・小澤光枝・狩野謙一・土屋文雄・長谷川敏子・井上豊子

（葦山地区）
 富田豊昭・成嶋 繁・小松堅・平井行雄・仲田道子・菅野明代・佐藤一丸・成嶋憲子・影山久容・柿島利男・相田ミエ・山口芙美子・三枝秀子・亀井あき・西島清志・二村晃雄・岡本郁美・古矢雅美・小澤章二・土屋隆・笹川ひとみ

新入会員の紹介
 (平成30年4月1日から12月17日)

編集後記
 「シルバー伊豆の国」第四十四号を発売致しました。平成最後の会報となりました。新しい年を迎え、編集委員一同更に親しまれる編集を目指してまいります。会員と地域をつなぐ広報紙です。本年も取材やご執筆・ご投稿へのご協力よろしくお願いいたします。(水口)

伊豆の国市シルバー人材センター (平成30年12月17日現在)		
会 員 数		
	人 数 (名)	前年同月比 (%)
全体	513	
	葦山191人・大仁177人・長岡145人	
男	352	88.9
女	161	98.2
就業実人員就業率		
全体	449	87.5
男	303	86.1
女	146	90.7

子・平山鶴子・小馬定義・山根田鶴子・土屋三男・日比通子・岩崎峰子・杉山かつよ・原 義信・目黒 修・三浦正男